

令和4年度
みやぎ東日本大震災津波伝承館
運営報告



令和5年6月

宮城県復興・危機管理部
復興支援・伝承課

目次

はじめに	- 1 -
伝承館の1年の動き等	- 1 -
1 来館者の状況	- 3 -
(1) 来館者数の状況.....	- 3 -
(2) 団体予約の状況.....	- 4 -
(3) 来館者アンケートの状況	- 5 -
2 展示運営の状況.....	- 10 -
(1) 常設展示.....	- 10 -
(2) 企画展示.....	- 12 -
3 機能強化事業の状況	- 14 -
4 情報発信（広報宣伝）の状況	- 17 -
5 関係団体との連携の状況	- 19 -
6 その他	- 22 -
(参考1) 機能強化事業の詳細.....	- 24 -
(参考2) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要.....	- 25 -

はじめに

みやぎ東日本大震災津波伝承館（以下「伝承館」という。）は、東日本大震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐことを目的とし、令和3年6月6日に開館した。また、伝承館の位置する石巻南浜津波復興祈念公園（以下「公園」という。）は、令和3年3月28日に開園した。

運営に当たっては、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、来館者が安心安全に見学できるよう、感染予防対策を徹底した。

令和4年度は、東日本大震災発生から11年が過ぎ、震災の風化が懸念される中、「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」として、展示解説を通じ、次なる災害への備えを確かなものにできるよう、全国、世界、そして次世代の人々をつなぎ、発信と交流に努めた。

また、令和3年4月に宮城県が策定した「東日本大震災の記憶・教訓の伝承に関する基本方針」で基本理念としている「東日本大震災の経験や復旧・復興の過程、そこからの教訓を現在（いま）、そして未来に伝え続ける」、「一人ひとりがかけがえのない大切な命を守り、災害時に『自らの命を守る行動』が実行できる社会をつくる」に基づき、地元住民、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会（以下「協議会」という。）、震災伝承みやぎコンソーシアム会員をはじめとする県内伝承団体、企業のほか、国、市町村、観光担当部局等の関係機関と連携し、県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を担ってゆくことを見据え、企画展示や誘客行事、情報発信等を行った。

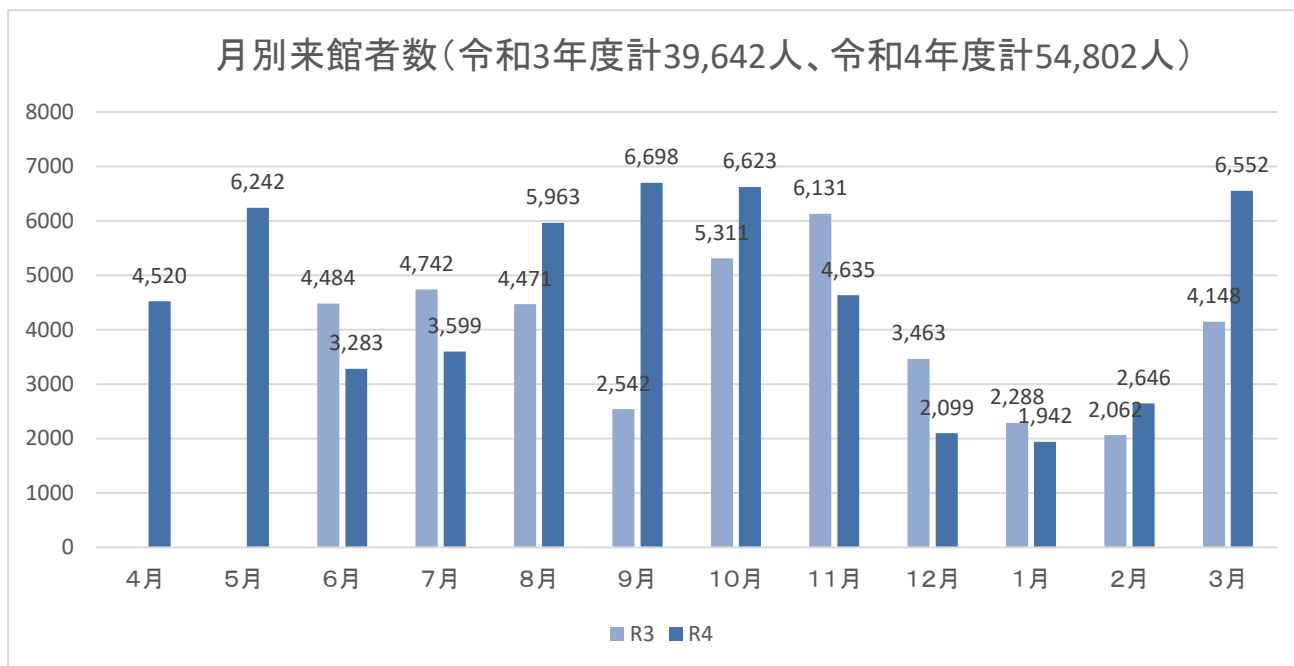
伝承館の1年の動き等

令和4年度	伝承館の主な動き	(参考) 県内の主な震災伝承施設の動き等
4月		3日 「石巻市震災遺構門脇小学校」開館（石巻市） 24日 石巻南浜津波復興祈念公園内市民活動拠点お披露目式
5月	30日 避難訓練実施（公園管理者との共同訓練）	
6月	6日 開館1周年	19日 「石巻市震災遺構門脇小学校」来館者1万人達成 25日、26日 第6回いしのまき復興マラソン
7月	16日 臨時休館（大雨警報による避難指示発令のため）	
8月	2日～31日 せんだい3.11メモリアル交流館パネル展 20日～12月11日 リボンアートフェスティバル2021-2022 展示	

9月		9日 震災伝承みやぎコンソーシアム設立
10月	1日～30日 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館パネル展	1日 「南三陸3.11メモリアル」開館(南三陸町)
11月	6日 避難訓練実施(石巻市総合防災訓練) 23日 「ぼうさいキッズパーク」の開催	3日 「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」来館者数20万人達成
12月	6日～1月6日 復旧・復興パネル展	
1月	8日～27日 振り返る1995.1.17阪神・淡路大震災パネル展 28日～翌月19日 みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品展示 29日 みやぎ災害伝承ポスターコンクール授賞式・ボランティア解説員認定式	
2月	21日～26日 復興まちづくりパネル展 28日～4月4日 読売新聞震災パネル展	11日 避難訓練実施(近隣町内会との合同実施)
3月	11日 「みやぎ鎮魂の日」	4日 仙台防災未来フォーラム2023開催(仙台市) 9日～12日 第3回世界防災フォーラム 11日 「みやぎ鎮魂の日」

1 来館者の状況

(1) 来館者数の状況



令和4年度月別来館者数と平均来館者数(単位:人, 日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数(A)	4,520	6,242	3,283	3,599	5,963	6,698	6,623	4,635	2,099	1,942	2,646	6,552	54,802	94,444
開館日数(B)	27	27	26	27	26	26	27	26	24	23	24	27	310	528
平均来館者数(A/B)	167	231	126	133	229	258	245	178	87	84	110	243	176	178

※1 令和3年6月6日に開館。

※2 大雨警報による石巻市内への避難指示発令のため、7月16日を臨時休館日とした。

※3 日別最多入館者数：1,784人(3月11日)

令和4年度平日、土日祝日別来館者数(単位:人, 日) ※()は令和3年度

	平日		土日・祝日		計	
来館者数(A)	26,289	(19,875)	28,513	(19,767)	54,802	(39,642)
開館日数(B)	195	(138)	115	(80)	310	(218)
平均来館者数(A/B)	134	(144)	247	(247)	176	(181)

4月・5月は、大型連休により来館者が増加したが、6月以降減少に転じた。8月以降は修学旅行等の団体利用の増加により来館者も増加した。12月以降は、特に学校の団体利用の減少により来館者が大幅に減少したが、3月は「みやぎ鎮魂の日」に向けて来館者が再び増加した。

また、平日・土日祝日別の平均来館者数をみると、平日が134人、土日祝日が247人となっており土日祝日の平均来館者数が約1.8倍となっている。

(2) 団体予約の状況

令和4年度区分別団体予約件数(単位:件,人)

		予約件数			人数		
		県内	県外	計	県内	県外	計
学校	小学校	15	4	19	413	347	760
	中学校	10	13	23	293	401	694
	高等学校	14	19	33	257	552	809
	特別支援学校	1	2	3	41	37	78
	大学	15	13	28	212	166	378
	専門学校・その他	2	4	6	50	228	278
	計	57	55	112	1,266	1,731	2,997
学校以外	企業・業界団体等	55	87	142	850	1,848	2,698
	公共的団体等	33	43	76	671	823	1,494
	国(省庁、議員)	17	13	30	160	124	284
	地方自治体	8	12	20	143	86	229
	議会(県外)	-	16	16	-	157	157
	宮城県(職員、県議会)	18	-	18	284	-	284
	地域の団体	6	1	7	91	18	109
	個人のグループ	7	25	32	54	153	207
	その他	45	81	126	688	1,234	1,922
	計	189	278	467	2,941	4,443	7,384
合計		246	333	579	4,207	6,174	10,381

学校では、県外の高等学校（19件）の利用が最も多い。県内は大きな差はないが、小学校（15件）と大学（15件）が最も多い。

学校以外では、県内・県外とも、企業や業界団体（142件）等の職域での利用が最も多く、その他の団体（126件）、自治会や民生児童委員協議会などの公共的団体等（76件）が続く。

令和4年度都道府県別団体予約件数(単位:件,人)

	件数	人数		件数	人数		件数	人数	
北海道	11	267	富山県	1	12	鳥取県	2	29	
青森県	1	9	石川県	3	41	島根県	2	20	
岩手県	17	363	福井県	2	13	岡山県	4	158	
宮城県	246	4,207	山梨県	2	33	広島県	2	45	
秋田県	11	206	長野県	6	146	徳島県	1	14	
山形県	12	184	岐阜県	1	1	香川県	2	20	
福島県	31	581	静岡県	7	156	愛媛県	4	57	
茨城県	8	128	愛知県	12	134	高知県	4	57	
栃木県	7	206	三重県	2	19	福岡県	9	164	
群馬県	4	151	滋賀県	2	20	佐賀県	2	29	
埼玉県	10	198	京都府	2	41	長崎県	1	2	
千葉県	5	94	大阪府	21	446	熊本県	4	94	
東京都	65	1,243	兵庫県	7	140	宮崎県	3	18	
神奈川県	20	242	奈良県	3	55	沖縄県	3	42	
新潟県	7	177	和歌山県	3	29	その他	7	90	
							合計	579	10,381

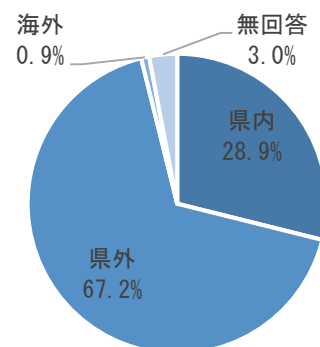
都道府県別にみると、宮城県（246件）が最も多く、東京都（65件）、福島県（31件）が続く。

(3) 来館者アンケートの状況

館内において来館者に対するアンケート調査を実施。232件の回答があった。(回収率0.4%)

① 回答者の居住地(単位:件,%)

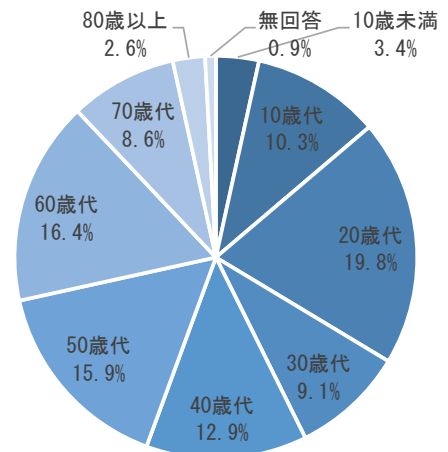
	回答数	割合
県内	67	28.9%
県外	156	67.2%
海外	2	0.9%
無回答	7	3.0%
合計	232	-



回答者の居住地を見ると、県外が約67%となっており、県内を上回った。

② 回答者の年齢(単位:件, %)

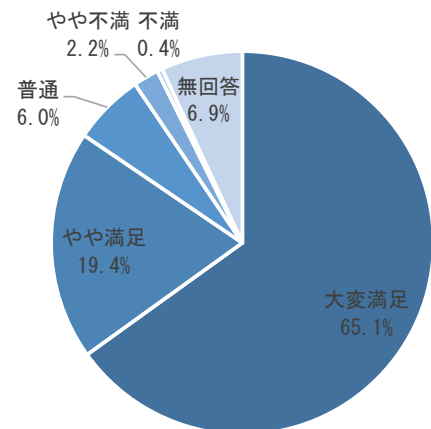
	回答数	割合
10歳未満	8	3.4%
10歳代	24	10.3%
20歳代	46	19.8%
30歳代	21	9.1%
40歳代	30	12.9%
50歳代	37	15.9%
60歳代	38	16.4%
70歳代	20	8.6%
80歳以上	6	2.6%
無回答	2	0.9%
合計	232	-



回答者の年齢を見ると、20歳代が最も多く、次いで60歳代、50歳代が続く。50歳代以上が全体の約4割を占めている。

③ 施設満足度(単位:件, %)

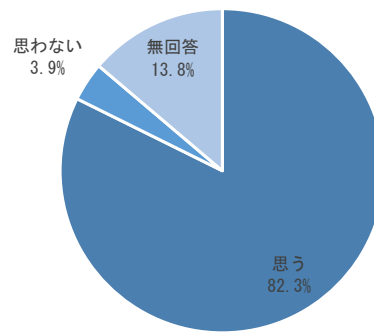
	回答数	割合
大変満足	151	65.1%
やや満足	45	19.4%
普通	14	6.0%
やや不満	5	2.2%
不満	1	0.4%
無回答	16	6.9%
合計	232	-



施設全体の満足度については、「大変満足」との回答が6割以上を占めており、「やや満足」との回答を含めると8割以上の方から「満足」との回答があった。

④ 当館を見学して、他の震災伝承施設等へ行ってみたいと思ったか。(単位:件, %)

	回答数	割合
思う	191	82.3%
思わない	9	3.9%
無回答	32	13.8%
合計	232	-



8割以上の方から他の震災伝承施設等へ行ってみたいと「思う」との回答があった。一方で、どの震災伝承施設等でも展示内容（逃げる事が大事）に差異がなく行ってみたいと思わないとの回答もあった。各震災伝承施設等の特色を整理し、来館者を誘導することが課題となっている。

⑤ 展示について(よかった展示・よくなかった展示)(単位:件)※重複回答あり

	よかった	よくなかった
つなぐ記憶	99	2
東日本大震災を知る	133	1
シアター「くり返さないために」	173	9
津波から命を守る	115	3
ともにつくる復興	64	3
「語り部」からのメッセージ	113	3
一人ひとりの記憶	81	2
合計	778	23

よかった展示(抜粋)

- ・文章、データ、図や動画のバランスがよくとても分かりやすかった。
- ・県全体の情報がまとまっていてよかった。
- ・実際に体験された方の証言、当時の映像などが分かりやすかった。
- ・映像で一人一人の声を聞くことができるのは心に来るものがあった。
- ・全体的によかった。特に映像にインパクトがあった。
- ・伝承に力点を置いた展示内容となっている。
- ・津波の歴史や被害の広がりなどが分析してあるのはとても勉強になった。

よくなかった展示(抜粋)

- ・シアターが明るくて見づらかった。
- ・シアターについて、外の声がよく聞こえて映像の音声がよく聞こえなかった。
- ・展示空間が狭く内容がない。
- ・シアターはよかったが他の展示はインパクトが弱いと感じた。
- ・シアターの映像が少し長かった。
- ・子どもが楽しめるように展示を工夫してもよいのではないか。
- ・震災について感動を誘うような気がして震災を象徴的に捉えてしまう恐れがあると思った。

展示内容についての設問では、肯定的な回答が多かった。展示のバランスがよく分かりやすかったという回答や、シアター等の映像や証言映像について「心に来るものがあった」「分かりやすかった」との肯定的な回答があった。

一方、「(シアターの映像が) 明るくて見づらい、外の声が聞こえ、映像の音声がよく聞こえない」といった回答や展示の内容の薄さ、インパクトの弱さを指摘する回答もあった。

また、子ども向けの展示の充実を求める回答もあった。

⑥ その他、自由記述欄にいただいたご意見(抜粋)

(開館日・開館時間について)

- ・月曜日が休みのため、月曜日の休館だと来館できない。
- ・閉館時間を延ばしてほしい。
- ・早い時間から開館していてよかった。

(施設について)

- ・大変綺麗だった。
- ・設備も新しく、タッチペンも消毒がしっかりされていてよかった。
- ・清掃が行き届いているだけでなく、建物の設計にも感動した。
- ・トイレの石けんが切れていた。

(職員・スタッフについて)

- ・説明が丁寧でとても好感が持てた。
- ・適度な距離感で接してもらいよかった。
- ・解説員が声を掛けてくれてパネル以上の事を知ることができた。
- ・解説員の解説は選択制にしてほしい。
- ・難聴者には聞き取りにくく、間がない状態で話すので内容が理解しにくかった。

(その他)

- ・公園内で防災に関するイベントなどを実施すると利用者が増えるのではないか。
- ・入口付近の空間が活用されればと思う。
- ・石巻駅からシャトルバスがあるといい。駅からの道が分かりづらい。石巻駅からのアクセスを工夫するといいいのでは。
- ・遺構などが分かりづらい。高めの看板があるといい。
- ・公園内にカフェなどの飲食店があれば何度も訪れる機会になる。
- ・広い土地なのに生かしきれていない。
- ・駐車場が遠いので高齢者には厳しい。
- ・案内看板が少なく迷う。駐車場の案内もなく入口の方に入って来てしまった。
- ・公園の全体像がつかめなかったので、看板（地図）を主な十字路などに設置してほしい。

2 展示運営の状況

(1) 常設展示

震災伝承に関する展示を通じ、国内外から来館する多くの方々に対し、県内の被災の大きさや復興の状況、語り部や民間団体等の想いを通し津波から命を守るための行動の重要性等を伝える。

そのために、解説員を常時4人配置し、希望する来館者に対し随時展示解説を行ったほか、予約した団体の方に、シアターの席の確保や展示解説を行った。

※ 国土交通省東北地方整備局が整備した展示についても、宮城県で解説した。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について



- ・シアターの座席数の削減
- ・館内の定期的な換気及びアルコール消毒の実施
- ・解説員からの積極的な声かけによる解説の自粛
- ・検温、消毒、マスク着用の励行
- ・みやぎお知らせコロナアプリ（MICA）の登録

●展示コンセプト

「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」

▲展示内容・特徴

リアルな津波の映像や被災者の証言等により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行う団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝える（映像出演者：79団体90人）。

展示構成	展示内容・目的	写真
<p>コンセプトパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル1枚 ・衣服1式 	<p>東日本大震災による津波に巻き込まれながらも一命を取り留めた、当時石巻市南浜地区にて被災した方が、当時身につけていた衣類及び当時撮影した写真をパネル化し、展示している。</p>	
<p>① つなぐ記憶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編「つなぐ記憶」(約7分) ・待機映像「記憶のまち」(約5分) 	<p>在りし日の情景を映像で映し出し、記憶を誘うシアター。</p>	

<p>② 東日本大震災を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「被害」、「津波」、「地震」の3つのパネルで構成 	<p>観測史上最大級の地震・津波による甚大な被害とその全体像を伝える。</p>	
<p>③ シアター 「くり返さないために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編「くり返さないために」(約11分) ・収容可能人数：約40人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間20人で運用 	<p>ドキュメンタリータッチの演出により、津波から命を守るには“逃げる”しかないことを徹底して訴える。</p>	
<p>④ 津波から命を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面パネル ・窓側パネル ・証言モニター 	<p>“津波から命を守る”ための意識を植え付け、将来の危機に備える行動を強く促す。</p>	
<p>⑤ ともにつくる復興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22の団体をマグネットパネルと55インチモニターにて紹介 	<p>県内各地の団体や企業、様々な人のまちを元気にする取り組みや場所を映像で紹介し、今の「みやぎ」を発信する。</p>	
<p>⑥ 「語り部」からのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18の語り部団体・個人をモニター5台にて紹介 	<p>県内各地の語り部団体の活動の様子を紹介し、震災遺構や伝承施設など、現地へ訪れてもらうきっかけを提示する。</p>	

<p>⑦ 一人ひとりの記憶</p> <p>・「生業」、「共助」、「日常」、「救助」の4テーマで計39人(団体)をモニター4台にて紹介</p>	<p>被災された方の震災当時から現在に至るまでの証言映像を通じ、様々な角度から震災を考えるきっかけを提示する。</p>	
<p>♣ 東日本大震災・緊急対応の記録</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>発災以降の緊急対応の記録と被災物を通じて津波の脅威を伝え、頻発する自然災害への備えについて考えるきっかけを提示する。</p>	
<p>♥ 3.11 伝承ロード</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>東日本大震災の実情と教訓を学ぶことができる「震災伝承施設」を紹介する。</p>	

(2) 企画展示

伝承館内の多目的スペース「思い致す場」等において、沿岸市町や伝承団体と連携した期間限定の企画展示を実施した。

せんだい 3.11 メモリアル交流館パネル展「3.11 現場の真実×心の真実 結～消防・命のプロが見た東日本大震災」

日時：令和4年8月2日(火)～令和4年8月31日(水)

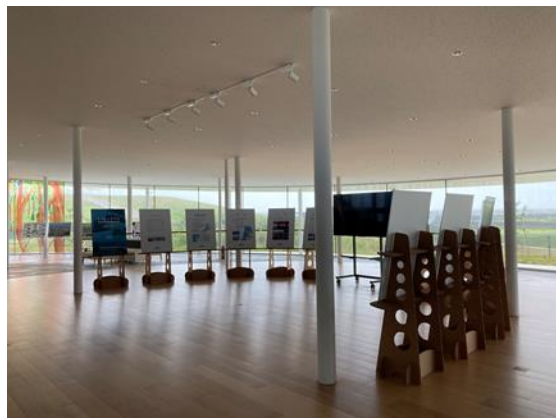
内容：仙台市の協力により、せんだい3.11メモリアル交流館で過去に実施された企画展の内容を再構成し、24枚のパネルや映像等を展示。



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館パネル展

日時：令和4年10月1日（土）～ 令和4年10月30日（日）

内容：気仙沼市の協力により、東日本大震災の気仙沼市の被害状況のパネルや気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館のPRパネル等12枚を展示。



リボンアートフェスティバル 2021-2022

日時：令和4年8月20日（土）～ 令和4年12月11日（日）

内容：リボンアートフェスティバルの会場の一つとして、伝承館の壁面に森林をイメージした絵を貼り付けて展示。好評を博したため、リボンアートフェスティバル期間終了後も展示を継続した。



3 機能強化事業の状況

伝承館の機能強化を目的とした東北大学災害科学国際研究所との共同研究により、思い致す場を活用した語り部講話及び講演会に加え、家族向けの防災啓発イベント、ポスターコンクール等を開催した。

※各回の実施内容等の詳細は、別紙（参考1）のとおり

(1) 県内語り部講話

日 時：令和4年7月23日（土）～令和5年3月4日（土）

※原則毎週土曜日 11:00～12:00、13:00～14:00 に開催

内 容：語り部を招き、東日本大震災の被災や復興に関する体験等についての講話会を計48回開催。

話し手：25名（うち、初めて語り部の形式で講話した方：7名）

延べ参加人数：776名



(2) 3.11 学びなおし塾

日 時：令和4年8月7日（日）～令和5年2月5日（日）

※偶数月第一日曜日 13:30～14:30 に開催

内 容：大学の研究者を招き、東日本大震災について「これまで分かっていること」「新たに分かったこと」を最新の研究から学ぶための講演会を計4回開催。

延べ参加人数：65名



(3) 3.11 げんば探訪

日 時：令和4年9月4日（日）～令和5年3月5日（日）

※奇数月第一日曜日 13:30～14:30 に開催

内 容：復興に向けた歩みのなかで、最前線で活躍されている方を招き、東日本大震災における新たな「学び」「気づき」を参加者と共有するための講演会を計4回開催。

延べ参加人数：73名



(4) ぼうさいキッズパーク

日 時：令和4年11月23日（水・祝）11:00～12:00、13:00～14:00

内 容：家庭での「防災のきっかけづくり」のために、子供も大人も楽しみながら学べるプログラムを開催。

延べ参加人数：42名（うち、午前21名、午後21名）



(5) 第1回みやぎ災害伝承ポスターコンクール

募集：令和4年6月26日（水）～令和4年9月16日（金）

表彰式：令和5年1月29日（日）

内容：小学生・中学生・高校生を対象として、「災害伝承」をテーマとしたポスターコンクールを開催。

応募数：92点

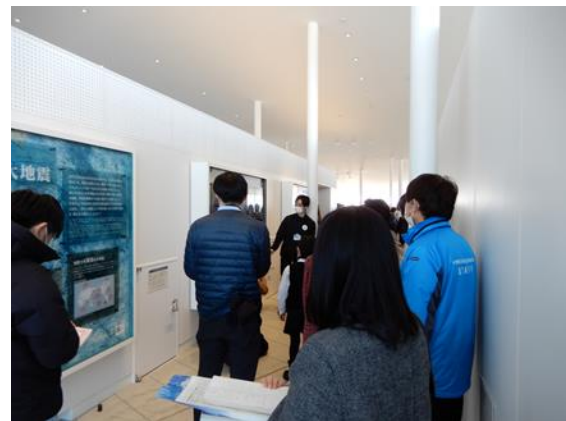


(6) ボランティア解説員の募集

内容：次世代の震災伝承の担い手の育成を図るため、小学生、中学生、高校生、大学生、専門学生等を対象として、伝承館のボランティア解説員を募集し、認定したもの。

認定者：大学生1名

認定式：令和5年1月29日（日）



(7) 伝承館イベントのYouTube配信とアーカイブ化

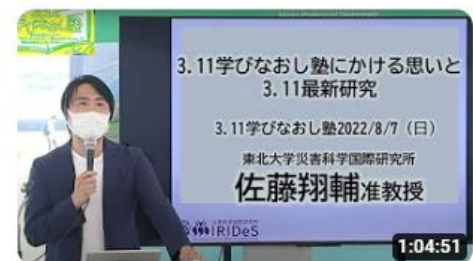
内容：伝承館でのイベント開催時にYouTube配信を行い、配信内容をアーカイブ化するようシステム構築したもの。

掲載コンテンツ数：32

最大再生回数：448回（3.11学びなおし塾【佐藤翔輔氏】）

（他の例：299回（県内語り部講話【奈良恵さん】））

アーカイブ動画サムネイル



『3.11学びなおし塾にける思いと3.11最新研究』東北大学災害科学国際研究所准教授...

4 情報発信（広報宣伝）の状況

(1) パンフレット配布

来館者に日本語のほか、英語、中国語（繁体語、簡体語）、韓国語のパンフレットを配布した。



(2) 報道機関への情報提供によるパブリシティ

県政記者クラブ等への情報提供を通じて、県内向け報道の充実を図った。

(3) ホームページによる情報発信

伝承館の常設展示・企画展示、利用案内のほか、団体予約受付の案内等を掲載した。

(4) 伝承館紹介動画公開

伝承館のPRのため、約4分間の紹介動画を県HPに掲載した。



(5) SNSによる情報発信

Twitter、Facebook、Instagram ページを開設し、開館情報や館内イベント等について随時発信した。

R5. 3. 31 時点

媒体	投稿数	フォロワー数
Twitter	248	397
Facebook	55	425
Instagram	52	105

(6) 各種情報誌等への掲載

< 県関係 >

- ・ 私たちの宮城県 2023
- ・ みやぎ・復興の歩み 12
- ・ みやぎ復興のたび
- ・ 宮城県誕生 150 周年記念誌
- ・ Baton 第1号 (令和4年8月発行)
- ・ Baton 第2号 (令和4年10月発行)

< その他 (当館が原稿提供したものに限り) >

- ・ みやぎ防災ガイド 2023 年版【河北新報出版センター】
- ・ ようこそ仙台ホテからゴー 2023 年 3・4 月号【河北新報社】
- ・ ウェルカム みやぎ観光ガイドブック' 23【公益社団法人宮城観光連盟】
- ・ 宮城県教育旅行ガイドブック【公益社団法人宮城観光連盟】
- ・ るるぶ特別編集 東日本大震災伝承施設ガイド【復興庁】
- ・ 道路建設 No. 796 号 (2023 年 1 月号)【一般社団法人日本道路建設業協会】
- ・ 高圧ガス Vol. 60 (2023 年 3 月 1 日発行)【高圧ガス保安協会】

(7) グッズ作成

伝承館の PR のため、取手付きクリアファイル 12,000 部を作成し、来館者に配布した。



5 関係団体との連携の状況

(1) 公園関係者との連携

公園関係の官民で構成される「石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会」の総会、伝承部会をはじめとする各部会に参加し、情報共有、意見交換等を実施した。

(2) 県内伝承団体・伝承施設・市町村等との連携

県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を果たせるよう、県内伝承団体・市町村と情報共有を密にするとともに、提供いただいたチラシ及び冊子について、伝承館に配架し、来館者に提供した。伝承館へ配架するチラシ及び冊子については、県補助事業の活用もあった。

また、震災伝承ネットワーク協議会の「伝承施設登録」において第3分類に登録されている施設に施設紹介動画の提供を依頼し、協力いただいた施設の動画を、伝承館内で随時放映するとともに、令和5年3月4日（土）に開催された仙台未来防災フォーラムの会場内で放映し、伝承施設のPRを実施した。

(3) 震災伝承ネットワーク協議会・3.11 伝承ロード推進機構との連携

① 震災伝承ネットワーク協議会

東北地方整備局、被災4県及び仙台市で構成する震災伝承ネットワーク協議会において公募・登録を実施している「震災伝承施設」の登録数は次のとおり。

震災伝承施設登録数 (令和5年3月31日現在)

所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳			所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳		
		第1分類	第2分類	第3分類			第1分類	第2分類	第3分類
仙台市	22	10	8	4	亙理町	4	1	3	
石巻市	36	22	6	8	山元町	5	1	1	3
塩竈市	2		1	1	松島町	6	4	1	1
気仙沼市	16	9	3	4	七ヶ浜町	1		1	
名取市	8	2	3	3	大郷町	1	1		
多賀城市	2		2		涌谷町	2	2		
岩沼市	6	3	2	1	美里町	2	2		
登米市	7	7			女川町	3		3	
東松島市	8	7		1	南三陸町	4		1	3
大崎市	2	2			合計	137	73	35	29

※「震災伝承施設」の登録にあたっては、各施設を①震災伝承、②訪問しやすさ、③理解しやすさの点から、次のとおり3つに分類している。

第1分類：①だけを満たす施設、第2分類：①及び②を満たす施設、第3分類：①②③全てを満たす施設

② 3.11 伝承ロード推進機構

3.11 伝承ロード推進機構の事業と連動し、アドバイザー委員会の出席等を通じ、広域的な震災伝承ネットワークの構築に向けた取組を推進した（ツアーの受け入れ等）。

(4) 県教育委員会との連携

震災から11年が経過し、震災を経験していない子供が増加していることから、県教育委員会、市町村教育委員会と随時意見交換したほか、令和5年1月25日(水)に開催された、令和4年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」にて伝承館の紹介を行った。



(5) みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターとの連携

伝承館をはじめとする県内伝承施設等を県外の修学旅行等のコースとしていただけるよう、みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター(以下「センター」という。)と随時意見交換を実施したほか、センターが発行する「宮城県教育旅行ガイドブック」冊子及び「みやぎ海への旅案内」サイトに伝承館の情報を掲載した。

(6) 伝承館の多目的スペース「思い致す場」での関係団体の取組

伝承館の多目的スペース「思い致す場」において、下記のとおり様々な団体が企画展や語り部講話等を実施した。

日付	内容	実施団体
令和4年6月6日(月)	宮城県震災伝承施策に関する説明会	宮城県
令和4年7月2日(土)	宮城学院女子大学附属発達科学研究所 2022 公開シンポジウム	宮城学院女子大学附属発達科学研究所
令和4年7月16日(土)～令和5年3月25日(土)	県内語り部プロジェクト(月2回土曜日開催、全16回)	(公社)3.11みらいサポート
令和4年7月23日(土)～令和5年3月4日(土)	県内語り部講話(毎週土曜日開催、全48回)	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和4年8月2日(火)～令和4年8月31日(水)	せんだい 3.11 メモリアル交流館パネル展「3.11 現場の真実×心の真実 結～消防・命のプロが見た東日本大震災」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所(協力:仙台市)
令和4年8月7日(日)	3.11 学びなおし塾「3.11 学びなおし塾にかける思いと3.11 最新研究」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和4年9月4日(日)	3.11 げんば探訪「希望・防災・未来: 防災体験型宿泊施設 KIBOTCHA」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和4年9月8日(木)	宮城学院女子大学紙芝居読み聞かせ	宮城学院女子大学
令和4年10月1日(土)～令和4年10月30日(日)	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館パネル展	宮城県、東北大学災害科学国際研究所

		(協力：気仙沼市東 日本大震災遺構・伝 承館)
令和4年10月2日(日)	3.11 学びなおし塾「復興まちづくり研究のご 紹介：東日本大震災は街をどう変えたか？」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和4年11月6日(日)	3.11 げんば探訪「被災地における 宿泊施設の 取り組み」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和4年11月23日(水・祝)	ぼうさいキッズパーク	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和4年12月4日(日)	3.11 学びなおし塾「3.11 問い続ける福祉のチ カラ」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和4年12月6日(火) ～令和5年1月6日(金)	復旧・復興パネル展	宮城県
令和5年1月8日(日)	3.11 げんば探訪「被災地高校生の“底上げ” の伴走支援」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和5年1月8日(日) ～令和5年1月27日(金)	振り返る 1995.1.17 阪神・淡路大震災パネル展	阪神・淡路大震災記 念 人と防災未来セ ンター
令和5年1月28日(土) ～令和5年2月19日(日)	第1回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作 品展示及び授賞式(授賞式は1月29日(日))	宮城県
令和5年2月5日(日)	3.11 学びなおし塾「「Build Back Better」か らみた 東日本大震災被災地の復興」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和5年2月21日(火)	多言語版伝承紙芝居の完成報告および寄贈式	宮城学院女子大学
令和5年2月21日(火) ～令和5年2月26日(日)	復興まちづくりパネル展	宮城県
令和5年3月5日(日)	3.11 げんば探訪「花と緑の力で、人とつな がり希望を紡ぐ、雄勝ローズファクトリーガ ーデン」	宮城県・東北大学災 害科学国際研究所
令和5年2月28日(火) ～令和5年4月4日(火)	読売新聞震災パネル展	読売新聞

6 その他

(1) 避難訓練の実施

令和4年5月30日(月)に公園管理者と合同で避難訓練を実施し、避難場所及び避難誘導方法等を確認した。また、令和4年11月6日(日)に石巻市総合防災訓練にあわせシェイクアウト訓練を実施した。

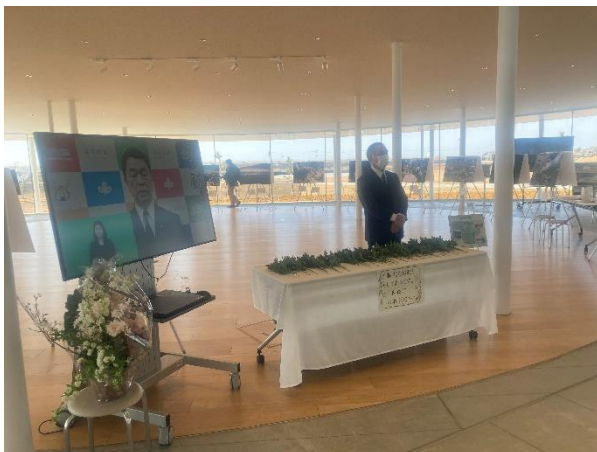
さらに、令和5年2月11日(土・祝)には、(公社)3.11メモリアルネットワークと近隣町内会との合同避難訓練に参加した。

(2) 復興大臣の来館

秋葉賢也復興大臣が令和4年9月28日(水)に来館し、追悼及び展示の視察等を行った。また、渡辺博道復興大臣が令和5年1月19日(木)及び令和5年3月11日(土)に公園に来園し、追悼を行った。

(3) 3月11日(みやぎ鎮魂の日)の取組

宮城県では、東日本大震災が発災した3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めているが、発災から12年目となる令和5年3月11日(土)に、来館者用の献花を用意するとともに、知事ビデオメッセージを放映し、来館者が黙とういただける場を設営した。



(4) 解説員研修

解説員の展示解説能力の向上を図るため、他の震災伝承施設解説員との意見交換や、語り部講話の聴講等を随時実施した。

(5) 展示施設の維持管理

動作確認等の日常点検及び年2回の保守点検を実施した。

(6) 震災遺構VRの導入

「一人ひとりの記憶」コーナーへVRヘッドセットを2台導入し、展示内容の充実を図った。



(7) NHK 東日本大震災「未来への証言」コーナーの設置

日本放送協会仙台放送局の協力により、「東日本大震災「未来への証言」」に出演された方のインタビュー音声を聴講できるコーナーを設置した。



(参考1) 機能強化事業の詳細

※講話者等の所属・肩書は開催当時のもの

(1) 県内語り部講話

年	月日	話し手	午前	午後	新規	被災地域	コーディネーター
令和4年	7月23日	がんばろう！石巻の会 黒澤健一さん	○	○		石巻市	東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔
	7月30日	SAY'S東松島 山縣嘉恵さん	○	○		東松島市	東北大学大学院工学研究科 渡邊勇
	8月6日	大川伝承の会 三条すみゑさん	○	○		石巻市	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	8月13日	みやぎ東日本大震災津波伝承館解説員 草島真人さん	○	-		石巻市	宮城県復興支援・伝承課 池田純
	8月20日	Tell〜子どもの目線から伝える被災地〜 武山ひかるさん	○	-		東松島市	東北大学大学院工学研究科 渡邊勇
	8月27日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	○		名取市	東北大学大学院工学研究科 渡邊勇
	9月3日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	○		名取市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	9月10日	やまもと語りべの会 井上剛さん	○	-		山元町	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	9月17日	ラジオ石巻 青木絵美さん	○	-		石巻市	東北大学大学院工学研究科 新家杏奈
	9月24日	加藤幸子さん	○	-	※	石巻市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	10月1日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	○		女川町	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	10月8日	命のかたりべ 高橋匡美さん	○	-		石巻市	東北大学大学院工学研究科 新家杏奈
	10月15日	仙台市若林消防署 鈴木誉郭さん	○	-		仙台市	東北大学大学院工学研究科 新家杏奈
	10月22日	ソフトバンク株式会社 須藤扶美子さん	○	○		仙台市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	10月29日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	-		七ヶ浜町	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	11月5日	一般社団法人ボランティーステーションin気仙沼 菊田忠衛さん	○	○		気仙沼市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	11月12日	みやぎ東日本大震災津波伝承館解説員 三浦浩さん	○	-		石巻市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	11月19日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	-		七ヶ浜町	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	11月26日	ソフトバンク株式会社 須藤扶美子さん	○	○		仙台市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	12月3日	阿部佳那子さん	○	○		女川町	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	12月10日	石巻焼きそば・味平 尾形勝壽さん	○	-	※	石巻市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	12月17日	奈良恵さん	○	-	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	12月24日	絆の駅 石巻ニューゼ 平井美智子さん	○	○		石巻市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
	令和5年	1月7日	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 松浦敏枝さん	○	○	※	石巻市
1月14日		近藤裕美さん	○	-	※	石巻市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
1月21日		石巻日日新聞社 小暮広行さん	○	-	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
1月28日		チームわたほい 遠藤伸一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
2月4日		石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	-	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
2月11日		阿部佳那子さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
2月18日		SAY'S東松島 山縣嘉恵さん	○	-		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
2月25日		ソフトバンク株式会社 須藤扶美子さん	○	○		仙台市	3.11伝承ロード推進機構 山崎麻里子
3月4日		命のかたりべ 高橋匡美さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美

※：被災体験を講話の形式ではじめてお話いただいた方

(2) 3.11 学びなおし塾

年	月日	講演者	講演題目
令和4年	8月7日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔氏	3.11学びなおし塾にける思いと3.11最新研究
	10月2日	東北大学大学院工学研究科 教授 尾浦道生氏	復興まちづくり研究のご紹介
	12月4日	東北福祉大学総合福祉学部 講師 阿部利江氏	3.11問い続ける福祉のチカラ
令和5年	2月5日	東北大学災害科学国際研究所 教授 村尾修氏	“Build Back Better”からみた東日本大震災被災地の復興

(3) 3.11 げんば探訪

年	月日	講演者	講演題目
令和4年	9月4日	貴瀨庁株式会社 代表取締役 三井紀代子氏	希望・防災・未来：防災体験型宿泊施設KIBOTCHA
	11月6日	南三陸ホテル観洋 女将 阿部薫子氏	被災地における宿泊施設の取り組み
令和5年	1月8日	認定NPO法人底上げ 理事 成宮崇史氏	被災地高校生の“底上げ”の伴走支援
	3月5日	一般社団法人雄勝花物語 共同代表 徳水博志氏	花と縁の力で、人とつながり希望を紡ぐ、雄勝ローズファクトリーガーデン

(4) ぼうさいキッズパーク

年	月日	講演者	講演題目
令和4年	11月23日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 福島洋氏	ガラクタでわかる“地震のおこりかた実験”
		東北大学災害科学国際研究所 准教授 榎田竜太氏	建物ってなんで揺れるの？

(参考2) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要

(1) 基本情報

- ①名 称 みやぎ東日本大震災津波伝承館
- ②所 在 地 宮城県石巻市南浜町2丁目1-56 (石巻南浜津波復興祈念公園内)
- ③開館年月日 令和3年6月6日(日)
- ④開館時間 午前9時から午後5時まで(最終入館は午後4時30分)
- ⑤休 館 日 毎週月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/4)
※GW期間を除く
※ただし、毎月11日は曜日・祝日に関わらず開館する。
- ⑥入 館 料 無料

(2) 施設(建物情報)

- ①面 積 1,520㎡(うち、展示面積765㎡)
- ②コンセプト 伝承館の建物は屋内直径40mの正円形の建物で、屋根は林立する122本あるランダムな細い柱で支えられ、建物周辺に植えられた樹林(マツ)が成長した際に連続した空間となるようデザインされています。外壁は全方位を見渡せるよう透明なガラス張りとしており、屋内からの視線の先には、日和山、善海田稲荷、石巻市震災遺構門脇小学校、追悼の広場、日本製紙工場の複数の煙突の煙などをとらえることができます。
また、建物の一番高い北側の屋根の高さは6.9mで、この地を襲った津波が停滞したときの高さを体感できるようになっています。
- ③そ の 他 建物所有、管理は国で行っています。

(3) 運営体制

宮城県復興支援・伝承課職員(東部地方振興事務所職員が兼務)が常駐しているほか、県の委託した展示解説員が、希望する団体・個人に対し展示解説を行っています。